

自己評価

研修・支援センター部 教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人一人の実態に即した支援の充実を図るため、校内研修や学習会を行い、組織力・専門性を高める。</li> <li>コミュニティ・スクール制度の導入に伴い、地域の学校への訪問や相談を通して、障がいのある状態や教育的ニーズに応じた合理的配慮の提供と個に応じた特別支援教育を推進する。</li> <li>コア・ティーチャーが中心となり、軽度知的障がいにおける指導内容や方法等の見直しや改善を推進する。</li> </ul>
評価する領域・分野	家庭との連携、センター的機能、就学相談
現状及びアンケート の結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学校の先生は、個別の教育支援計画を保護者や関係機関と連携して作成し、将来を見通した支援をしている」「保護者や関係機関の意見が個別の教育支援計画に反映されている」「学校は特別支援教育のセンターとして機能している」の3項目において、「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」「わからない」を合わせると約30%であった。</li> <li>年度当初から個別の教育支援計画について保護者や関係機関と連携できるよう取組を見直す必要がある。また、センター的機能の広報活動の方法について工夫が必要である。</li> </ul>
今年度の具体的かつ 明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の教育支援計画を本人・保護者の願いを基に作成し、教育活動全体において支援の充実を図る。</li> <li>相談支援や訪問支援、研修支援や連携会議等を通し、当校のセンター的機能の向上を図る。</li> <li>関係市町の就学相談支援を通し、就学や学びの場の適正化を図る。</li> </ul>
重点目標を達成する ための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の教育支援計画を担当が中心となり作成し、当分掌職員が適宜助言を行う。活用を目的とした情報交換会を行う。</li> <li>特別支援教育コーディネーターが中心となり、関係市町との連携を図る。</li> </ul>
目標の達成に必要な 具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別懇談において、本人・保護者の願いを聞き取り、それらを基に担当が中心となり個別の教育支援計画を作成する。将来を見据え、本人の実態に即した目標の設定や支援内容が計画されているかの確認を当分掌職員が点検し、助言を行う。それらの目標や支援内容を共有するための場として情報交換会を行い、実際の支援につなげていく。</li> <li>連携会議等への出席、関係市町における就学相談の実施。</li> </ul>
達成度の判断・判定 基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の教育支援計画に本人・保護者の願いが反映されると共に、将来を見据えた目標設定や支援内容が計画されているか。</li> <li>目標や支援内容が職員間で共有されているか。</li> <li>連携会議や関係市町就学相談を通し、就学や学びの場の適正化を図ることができたか。</li> </ul>
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の教育支援計画作成に際し、適宜助言を行った。</li> <li>個別の教育支援計画の作成と活用の流れや関係機関との連携について明確にし、年度の早い段階から活用できるようにした。</li> <li>情報交換会を実施し、目標や支援内容の共有を図った。</li> <li>岐阜市就学指導委員会定例会及び個別の相談会への参加とそれに伴う就学相談により、就学や学びの場の適正化を図ることができた。</li> </ul>
評価の視点	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>本人・保護者の願いを反映した個別の教育支援計画を作成すると共に、本人・保護者の確認を行うことができたか。</li> <li>生徒の実態に即した個別の教育支援計画を作成することができたか。</li> <li>児童生徒への支援の充実や就学の適正化を図るために、関係市町の就学相談や連携会議に臨むことができたか。</li> </ul>	<p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p>
成果・課題	総合評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>○関係市町における就学指導委員会への参加やそれに伴う就学相談等を行うことができた。</li> <li>○個別の教育支援計画の作成と流れを明確にすることで、本人・保護者のニーズを確かめたり、支援状況を確認する時期が整理され、年間の見直しをもつことができた。</li> <li>○本人や保護者のニーズに応じ、外部機関の関係者から助言を頂くことができた。</li> <li>▲軽度知的障がいにおける指導内容や方法の見直しや改善の場を設定することが難しかった。</li> <li>▲センター的機能の理解啓発に努めたい。</li> </ul>	A (B) C D
来年度に向けての 改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の教育支援計画に関する取組の流れの明確化と「ニーズ確認シート」の作成</li> <li>軽度知的障がいにおける指導内容や方法の見直しや改善の推進</li> <li>高等学校に対するセンター的機能の理解啓発活動</li> </ul>

学校関係者評価 (平成31年2月28日実施)

意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに高等特別支援学校としてのセンター的機能を考えると良い。</li> <li>校内の取組を継続して推進して欲しい。</li> </ul>
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

